

有馬半馬 ありま はんば 小説家、洋畫家。明治十五年十一月二十六日神奈川縣生れ、昭和四十九年九月十五自殺（八二一九七四）。本名半生馬 はんせいば。號・筆名十月亭、十月鴉山、半、半生々、鴉山、南東、南東生、編・FISHIMA、編・Arishima、N. A. M. A.、M. ARISHIMA I. A. 等。明治二十七年東京外國語學校得大判諾科卒。翌年渡歐し四十二年歸國、雜誌「白樺」同人となる。大正二年第一社會創設、昭和七年帝國美術院會員、翌年「水會」役員、二十九年文化功勞者。作家有島武郎の弟、同里見淳の兄。

著譯書「蝙蝠の如く」(大正二年一月)、二十二年洛陽堂「白樺叢書」
「獸人口」(大正四年六月)、二十二年鈴木不二重子編輯「現代各作集」
「南歐の心」(大正五年六月十五日、改版・七月)、二十二年新潮社、
「暴君の心」(大正七年九月十五日新潮社「新進作家叢書」)、
「白樺の森」(合著・白樺同人、大正七年三月)、二十二年新潮社、
「中」(大正七年七月)、二十五年春陽堂「新進文藝叢書」)、
「鏡中影」(大正八年八月十五日春陽堂)、エミル・ジレナタ著「回想のセザンヌ」(譯、大正九年五月)、二十日叢文閣。再刊・昭和二年十一月五日岩波書店「岩波文庫」)、
「美術の秋」(三島景道 田中敏男編、大正九年十一月十五日叢文閣)、
「歐の東」(大正十年一月十八日新潮社)、
「得

國川望讀本」(吉田彌邦共譯、大正十年十一月)、二十日世界文庫刊行會



「世界國民讀本叢書」)、
「日本現代名家小説集」
著「歐」(合著・查キスニ譯、民國十九年十一月上海中華書局「新文藝叢書」)、
「白波雨稿」(大正十二年五月)、二十日金草堂「隨筆感想叢書」)、
「蝙蝠の如く」(大正

十二年九月十五日新潮社「代表的名作選集」)、
レオナルド・ダエリ著
『セザンヌ』(譯、大正十四年四月二十日夕エス・イヤル美術叢書)、
關島道彦遺稿『若くは科學者の隨筆』(編、大正十五年六月九日新潮
社)、
『海村』全二冊(昭和二年十月十日改進黨)、
『有島武郎全集』
全十卷(里見淳共監輯、昭和四年四月一日—五年二月、十五日新潮
社)、
『世界文學講義』10(南歐文學篇)(合著、昭和五年四月十二
日、普及版・七年五月二十一日新潮社)、
『ピラミッド』作『死せるパ
スカ』 悪の道(岩崎純孝共譯、昭和七年八月十五日新潮社)『世界文學
學全集・第三期』、
『有島生馬全集・第一卷』(昭和七年十二月一
日改進黨)、
『有島生馬書集(人物肖像篇)』(昭和七年十二月十五
日夕トリヤ社)、
『有島孝子家集』(編、昭和十年一月二十日夕刊。與
謝野晶子(編)、エミル・ムルナー著『回想のセザンヌ』(譯、増訂
版、昭和十五年一月五日、改譯、二十八年六月十五日岩波書店)『岩波
文庫』)、
『注年の學風』(合著、昭和十五年八月二十日朝日新聞社
縮刷)、
『有島洋馬集』(昭和十六年二月十五日河出書房)『白樺叢
書』)、
『學生と西洋』(合著、河合榮治郎編、昭和十六年四月十五
日日本評論社)、
『蟻蜂の如く』^{伊大知篇}日本篇(昭和十七年四月十日發
行書房)、
『畫入画田二郎助』(合著、大隅島三編、昭和十七年十一
月十五日春書會)、
『グレース・イヤ・デレツダ作の秘道』(譯、昭和十七
年十一月二十日日本出版社)『イタリヤ文化選書』)、
エミル・ムルナ
ー著『回想のセザンヌ』(訳、昭和十七年十一月二十日美術出
版社)等。